

山口県立

総合医療センターだより

Yamaguchi Prefectural Grand Medical Center



vol. **40**
2020.5

Contents

01 院長挨拶

新年度を迎えて

02 TOPICS

病院機能評価の更新認定を受けて

03 **特集**

新「心血管カテーテル治療室」稼働

05 看護部通信

認知症看護認定看護師教育過程を受講して

06 地域医療連携ニュース

地域に公開する研修会の開催について
治療と仕事の両立支援相談窓口の紹介
ハローワーク長期療養者就職支援窓口の紹介

07 インフォメーション

2020年度県民公開講座の開催予定
やまぐち医療最前線の放送予定
きららサロン・きららサロンミニ講座のお知らせ
編集後記

別紙 外来診察担当医表

新年度を迎えて

院長 武藤正彦



中国にはじまり世界を震撼させているCOVID-19騒動の渦中に、2020年度が始まりました。センターだより第40号が発刊される頃には、この新興感染症が沈静化され、社会経済活動が息を吹き返していることを願っています。

山口県立総合医療センターは昨年創立70年を迎えました。当院は昭和58年に建てられたものであり、建物の老朽化、狭隘化による療養および労働環境の改善のために「時代に沿った医療の提供」とは何かを常に考えています。

2019年度は、腎臓内科の新設と血液浄化療法センター(旧人工透析室)の医療機能の充実を図りました。さらに、急性期医療の重要な担い手である循環器内科が管理運用している「心血管カテーテル治療室」の医療機能の拡充を図るため、最新型血管造影X線診断装置を導入し、これまでの1室から2室に増室しました。県央地域内での地域完結型の心疾患の診断と治療に少なからず貢献できるものと期待をしています。

また、当院は地域がん診療連携拠点病院として、質の高いがん診療の提供を行っていく責務があります。そのために、2020年度はリニアク棟の増改築工事を1年間かけて行います。これまで実践してきた外来化学療法、がんサロンを含む緩和ケア医療に加えて、がん患者さんからの要望もある遺伝子医療の実践に向けた具体的準備も進めていくことで、地域におけるがん診療の中心的役割を果たしていきたいと考えています。

病院経営に対する全職員の意識改革を図るとともに、労働環境改善の取組みも本格始動します。本年度も職員がチーム一丸となって全力で取り組んでまいりますので、県民のみなさまのより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

TOPICS / トピックス

病院機能評価(3rdG:Ver.2.0)の認定を受けました。

令和元年10月に、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価の更新審査を受審し、令和2年1月6日付で認定(認定4回目)されました。



S判定の項目と評価について

安全確保に向けた体制が確立している

医療安全推進週間に毎年実施している啓発活動が、医療従事者だけでなく、患者さんやそのご家族も巻き込んだ内容であることなど、医療安全推進室の活動が院内全体を俯瞰して組織横断的に行われていることが高く評価されました。



診療の質の向上に向けた活動に取り組んでいる

院内症例検討会やカンファレンスには院外医師も参加可能であり、地域の病診連携や診療レベルの向上に努めていること、院内クリニカルパスの作成は200件を超え、毎年パス大会を行い改善に取り組んでいることが評価されました。

臨床検査機能を適切に発揮している

中央検査部が「臨床検査室国際規格ISO 15189」の認定を有しており、2007年の認定取得からすでに3回の更新を行っていること、継続的に高品質の臨床検査機能を発揮するために内部監査を行っていることが高く評価されました。



今回の結果は1部門だけの努力で得られたものではなく、診療、看護、事務部門のそれぞれが強みを活かしコミュニケーションを図りながら、より良い医療の提供を目指してきた結果です。今回の更新認定で高評価を得ることができましたが、これに満足することなく、今後もより一層質の高い医療・看護の提供に尽力してまいります。

当院ホームページに各担当者のコメントを掲載しています。こちらもご確認ください。



新「心血管カテーテル治療室」稼働

生活習慣の欧米化や超高齢社会により虚血性心疾患や心不全の患者さんが急増しています。このような現状と将来的にさらに増加していく状況を踏まえ、この度フィリップス社製血管撮影装置「Azurion」を導入し、新たに心血管カテーテル治療室が稼働を始めました。

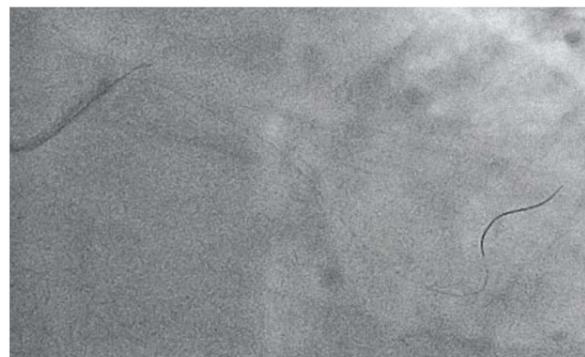
Azurionシリーズは、低被ばくと高画質の両立、ワークフローの改善などをめざして開発された新製品であり、山口県内では山口大学医学部附属病院について2番目、循環器領域としては県内初の導入となります。

今回導入したバイブレーションシステムでは2方向から同時観察することができるため、より複雑な冠動脈病変への対応や造影剤の使用量低減が可能となります。また、最新式フラットパネル検出器が採用されており、従来の検出器に比べて4倍のコントラスト描出能を有し、より細かな血管像の描出に優れています。

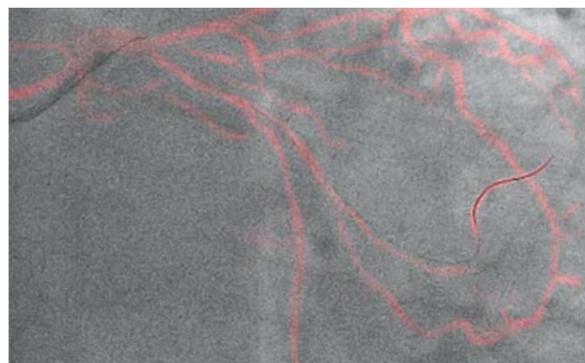
さらに循環器領域のインターベンションを支援する最新のガイダンスツールも搭載されており、術者の治療をサポートするとともに患者さんの負担を軽減するシステムとなっています。県内初導入となるDynamic Coronary Roadmap機能はX線画像に心臓の血管を重ね合わせ表示することができ、従来装置と比較して透視時間の短縮や造影剤量の低減が期待されています。



バイブレーションシステム



透視像のみ



Dynamic Coronary Roadmap機能による重ね合わせ像

心血管カテーテル治療室に導入された最新機器が稼働中



当院は、循環器専門医(日本循環器学会)をはじめ、心血管カテーテル治療専門医(日本心血管インターベンション治療学会)や不整脈専門医(日本不整脈心電学会)が在籍しており、あらゆる心疾患に24時間体制で対応しています。最新機器の導入により、これまで以上に地域の先生方のご期待に沿える環境が整いました。

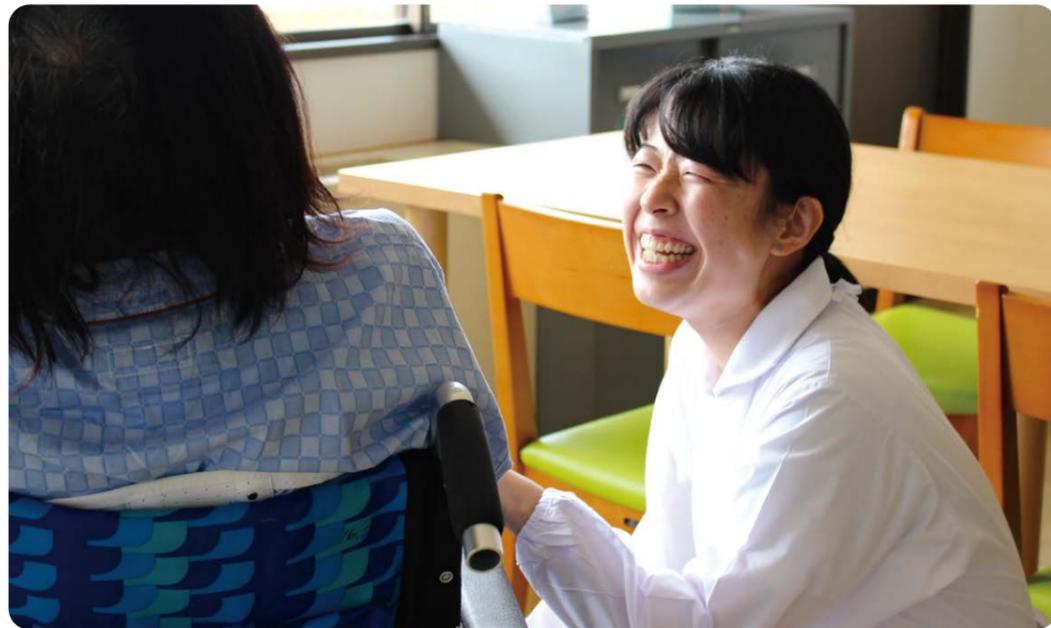
内科系主任部長
循環器内科診療部長

池田 安宏 (いけだ やすひろ)

日本内科学会 総合内科専門医
日本循環器学会 循環器専門医
日本心血管インターベンション治療学会 認定医

看護部 Nursing department communication 通+信

認知症看護認定 看護師教育課程を 受講して



病棟には、突然の入院や生活環境の変化に戸惑い、慣れない入院生活に困難を感じている認知症患者さんが多くおられます。私は、多様な疾患を抱えて入院してこられるこのような認知症患者さんへのケアを考えていく必要があると感じ、認知症看護認定看護師教育課程を受講しました。

講義や臨地実習を経て、認知症の方自身が何を考え望んでいるのかを理解し、権利を擁護する必要性を学びました。また、私たち看護師も含めた療養環境が認知症患者さんの行動や心理状態に大きく影響することも学びました。

療養生活や治療の継続が困難になることもある患者さんに対し、私たち看護師は、多重業務に追われて思うようなケアができず、ジレンマを感じることも多くあります。認知症看護認定看護師の役割は、認知症患者さんとそのご家族に対する水準の高い看護の実践と、看護職に対し認知症看護に関する指導・相談対応を行う

ことにあります。院内外に関わらず、認知症の方の生命、生活の質、尊厳を尊重したケアを多職種で協働し、提供していくことが求められています。

特に院内においては、認知症の方が今までのような生活を送ってきたのか、大切にしていることは何かを尋ね、できる限り入院に伴う混乱を少なくするように他のスタッフと協働して取り組んでいます。

認知症の方は「何もできない、わからない人」ではありません。その方の立場に立ち、その方にとっての困りごとが何かを考え、安心・安全な療養生活を提供できるように、多職種との連携をさらに強化したいと考えています。



認定看護師認定審査に向けて日々勉強中です！

5階南看護師
金武 和美 (かねたけ かずみ)

地域医療従事者研修会のご案内

院外の医療従事者の方も参加できる研修会を看護部が主催しています。今年度の予定は下記のとおりです。参加を希望される方は、地域医療連携室までお問い合わせください。TEL:(0835)22-5355

まずは

お問い合わせ

地域医療連携室
TEL:(0835)22-5355

※院外の医療従事者も参加OK

日時	研修会等の名称	演題又は内容	対象
7月28日	新人看護職員研修4ヶ月	褥瘡予防ケア	看護師
8月25日	新人看護職員研修5ヶ月	リスクマネジメント	
10月27日	新人看護職員研修7ヶ月	急変時の対応	
10月20日	がん看護研修	苦痛症状のアセスメントと看護ケア	
11月20日	がん看護研修	化学療法看護に必要な知識と患者支援の具体策	
10月 1日	クリティカルケア研修	検査データの読み方・考え方 ～病態生理を読み解く～	
11月 5日	クリティカルケア研修	明日から役立つ心電図の読み方	看護補助者
7月16日	看護補助者研修	看護安全と感染予防	
9月17日	看護補助者研修	看護補助者としての行動	
11月19日	看護補助者研修	食事の援助・口腔ケア	

治療と仕事を両立させたい方、 新たに仕事を始めたい方を 応援します！

- 治療が必要だが働きたい。
- 自分の体調・病状にあった仕事を見つけたい。
- 今の仕事を続けたいが、職場から退職を促されている。どうしたらよいか。

このような悩みをお持ちの患者さんやご家族の方、お気軽にご相談ください。両立支援相談窓口、ハローワーク長期療養者就職支援窓口が対応いたします。まずは、医療相談室・がん相談支援センターへお問い合わせください。TEL:0835-22-5145(平日 8時30分～17時15分)



まずは

お問い合わせ

医療相談室・がん相談支援センター
TEL:(0835)22-5145(平日 8時30分～17時15分)

※事前予約要、相談料無料
※全疾患対象
(他院受診中の方でもOK!)

治療と仕事を
両立
させたい方

両立支援相談窓口 | 第2・4水曜日 11時～15時(年末・年始、祝日は除く)

治療をしながら仕事を続けたい方を対象に、山口産業保健総合支援センターの両立支援促進員が相談対応をしています。専門知識をもった相談員が、治療と仕事の両立に関する不安をお伺いします。

求職活動中
の方

ハローワーク長期療養者就職支援窓口 | 第1・3水曜日 11時～15時(年末・年始、祝日は除く)

長期療養をしながら新たに仕事を始めたい方を対象に、ハローワーク徳山の就職支援ナビゲーターが、能力・適正・病状・治療状況を考慮し、マンツーマンで就職を支援します。

2020年度県民公開講座開催予定表

受講料無料(事前申込み不要)

日 時	テーマ	講 師	場 所
6月20日(土)	心不全と肺高血圧症	循環器内科 池田 安宏 医師	山口県総合保健会館2階 第一研修室
10月10日(土)	泌尿器(膀胱)がんと 泌尿器疾患(レーザー治療を中心に)	泌尿器科 山本 光孝 医師 是永 佳仁 医師	ルルサス防府2階 多目的ホール
11月28日(土)	認知症	脳神経内科 福迫 俊弘 医師	当院2階 大会議室
1月23日(土)	がん放射線診断と治療	放射線科 中島 好晃 医師	山口市民会館 小ホール

※講演時間14:00~15:00 [開場13:00] (各回共通)

やまぐち医療最前線 (tvs テレビ山口)

放送日時	放送内容	出演
6月 6日(土) 18:55~19:00	ほくろ癌(メラノーマ)に対する新しい治療	皮膚科 山田 隆弘 医師
6月10日(水) 16:50~16:56		

きららサロン、ミニ講座休止のお知らせ

がん患者さん、ご家族のための「きららサロン」、がん向き合う日々のための「きららサロンミニ講座」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、しばらくの間、休止とさせていただきます。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

編集後記

今号は、新たに稼働を始めた「心血管カテーテル治療室」を特集しました。写真撮影のため実際の検査と治療に立ち会ったのですが、専門医の洗練された手技が最新鋭の機器を通じてモニターに映し出される様子は、カメラのシャッターを押すのを忘れてしまうほど新鮮なものでした。(企画調整室H.A)



【基本理念】 県民の健康と生命を守るために満足度の高い医療を提供する



山口県立総合医療センター
Yamaguchi Prefectural Grand Medical Center

〒747-8511 山口県防府市大字大崎10077番地
TEL 0835-22-4411(代表) FAX 0835-38-2210 URL <https://www.ymgph.jp/>